

パラ陸上種目別記録会競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は、車いす種目を除き、2021年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施するが、後述（9 競技方法及び競技規則の適用について）で特に記載がある場合に限り2021年度世界パラ陸上競技連盟(WPA)規則を適用する。車いす種目については、2021年度 WPA 規則を適用する。

2 競技場の入退場及び競技者受付について

- (1) 競技は無観客で行う。会場内に入場できる者は、競技者・チーム関係者・大会スタッフ及び主催者より特に認められた者のみとする。パラ種目別記録会についてはJPA発行のADカードを着用すること。
- (2) 本競技会に来場する者は全員、JPAホームページより、「体調管理チェックシート」をダウンロードし、記入をしておく。その際、検温については、競技会前14日間の検温結果を必ず記入すること。
- (3) 当日は、マスク、個人用シート、個人用タオル、ゴミ袋を持参すること。
- (5) 競技者、チーム関係者の会場への入退場口は車椅子競技者を除き、2階正面入口エントランスのみとし、車椅子競技者については1階Bゲートとする。

- (6) 開門時刻は11時00分とする。

※ 開門前に来場した競技者及びチーム関係者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。

- (7) 競技者、チーム関係者は入場の際に、手指消毒及び検温を行う。
- (8) 入場後、競技者及びチーム関係者は各自、事前に記入した「体調管理チェックシート」及び「保護者同意書」（高校生競技者のみ）を受付に提出し、ADカードを受け取る。「体調管理チェックシート」（及び「保護者同意書」）を提出しない者については入場を認めない。検温を済ませ、書類を提出したパラ競技者及びチーム関係者はリストバンドを着用する。また、アスリートビブス及びプログラムについては1階Bゲート脇に設置するパラ競技者用受付にて受け取ること。
- (9) プログラムに記載ミス（氏名、所属等）があった場合には、パラ競技者用受付に申し出ること。

3 新型コロナウイルスの感染拡大防止

- (1) 体調がよくない場合（例、発熱、咳、咽頭痛などの症状がある等）は来場を見合わせる。
- (2) 以下の事項に該当する場合は、来場及び競技への参加を認めない。
 - ・ 当日の体温が 37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある。
(入場時、非接触での検温を実施する。当日検温で 37.5℃以上の場合は入場を認めない。
37.0℃以上の場合は再検査を行う。)
 - ・ 同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある。
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - ・ 大会開催日の3週間前の時点、もしくはそれ以降にPCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった。
- (3) 来場にあたっては、マスク・タオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
- (4) 石けん等を用いた手洗い・手指消毒、洗顔を行うこと。
- (5) ウォーミングアップ・招集等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (6) 競技用具使用後は、手洗いまたは手指の消毒を行うこと。
- (7) 飛沫拡散を防ぐ為声を出しての応援はしないこと。また集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。

- (8) 更衣室の滞在は短時間にすること。また、飲食等の際は感染リスクが高くなる為、短時間でソーシャルディスタンスを保ち、換気の良い場所で行うこと。
- (9) タオル、ペットボトル、コップ、皿、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。
- (10) ゴミは各自で持ち帰ること。
- (11) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（日本パラ陸上競技連盟）に報告すること。

4 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、本競技場内で行うことができる。車いす競技者は、競技場プロムナードのバックスタンド裏で行う。
- (2) 競技場内（競技区域内）に入場できるのは、スプリントチャレンジ種目では、競技者のみとし、指導者・引率者等の立入は認められていない。パラ種目ではADを着用した指導者1名の付き添いを認めるが、競技中はスタンドで観戦すること。
- (3) 競技区域内でのウォーミングアップは、本競技会に参加する競技者に限定する。必ずADカードを身につけて行うこと。
- (4) ウォーミングアップを競技区域内で行う際には、競技場プロムナードの階段を通行すること。（正面スタンド下の階段の通行は不可とする。）また、競技区域への入場はAゲート、退場はBゲートからのみとする。なお、ホームストレートを使用できる時間帯についてはAゲートからの退場も認める。なお、車椅子競技者についてはエレベーターを使用できることとする。
- (5) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い（競技運営上、一時的に制限することがある。）、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行うこと。
- (6) スタートの練習（スターティングブロックを設置する。）は、以下のとおりとする。

スタート練習時間	場所
12:20～12:50	ホームストレート（2～5レーン）
13:00～14:25	バックストレート（3～8レーン）

- (7) ウォーミングアップ中の個人の荷物は、責任を持って管理すること。

5 更衣室について

2ABを女子更衣室、3ABを男子更衣室とする。更衣のみの利用とし、荷物を置いたままウォームアップや競技を行うことは禁止する。また、屋内階段および屋内廊下の通行は車椅子競技者を除いて更衣室利用時のみとし、ウォームアップや招集に向かう際は一度プロムナードに戻り、4(4)に従うこと。車椅子競技者に限り、Aゲートから更衣室までの屋内廊下の通行を可能とする。

6 招集について

- (1) 招集所の設置場所は、100mスタート地点後方のAゲート裏とする。
- (2) 招集所において、競技者は必ずマスクを着用すること。
- (3) 各競技の招集開始・完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。
- (4) 招集の方法
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・靴・スパイクピンのチェックを行う。また、トラック競技に出場する競技者は腰ナンバー標識を受け取ること。
 - ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
 - ③ 代理人が点呼およびチェックを受けることは認めず、招集完了時刻を超えた場合には、当該種目を棄権した

ものとして処理する。

- ④ 重複出場がある競技者は、最初の種目の招集の際に招集所の競技者係に申し出る。

7 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは主催者が2枚配付する。
- (2) アスリートビブスは立位の競技者は、そのままの大きさで胸と背部に確実に固定すること。ただし跳躍種目では胸か背部に1枚でよい。車いす種目ではレーサー後部に1枚でよい。
- (3) 腰ナンバー標識は立位の競技者は右腰の高い位置に記載の数字が身体の真横となり、はっきりと判読できるよう注意してつけること。車いす種目ではヘルメットの左側に貼りつける。

8 競技区域への入退場について

- (1) 競技区域への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。
- (2) 招集所からスタート地点または競技場所へ移動する際は、必ずマスクを着用する。
- (3) 衣類等の荷物の運搬は行わない。立位のトラック種目は、競技終了後、メディアによるインタビューを受けた後、グラウンド脇の通路を反時計回りにバックストレート側を経由して通行し、スタート地点で荷物を回収後、Aゲートより退場すること。ただしスタート地点に荷物を置かない競技者についてはBゲートから退場してもよい。
- (4) 車いす競技者はメディアによるインタビューを受けた後、Bゲートから退場する。
- (5) フィールド種目に出場の競技者は招集を受けた後、競技役員の指示に従って競技場所へ移動すること。競技終了後、やり投と走高跳の競技者はそれぞれの競技場所からグラウンド脇の通路を時計回りに、走幅跳の競技者はグラウンド脇の通路を反時計回りにBゲートへ移動し、ミックスゾーンを経由して退場すること。

9 競技方法及び競技規則の適用について

- (1) 計時はすべて写真判定装置を使用する。
- (2) レーン順はプログラム記載どおりとする。
- (3) 競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (4) SISは使用しないので、WPA規則でスタブプロの使用が必須のパラ障がいクラスの種目では世界記録/アジア記録は公認されない。世界ランキング及び日本記録の対象にはなる。
- (5) 聴覚障がいのトラック種目(T70)では光刺激システムは使用しない。
- (6) 視覚障がいのトラック種目では、本競技会の特別申し合わせ事項として、T13クラスだけでなく、T12クラスでもガイドランナー無しで単独で走る競技者には2レーンを割り振らず、1レーンのみを使用する。
- (7) WPA規則でスタブプロの使用が任意のパラ障がいクラスの競技者については、日本陸連規則に拠らず、スタブプロの使用は任意とする。
- (8) レーンを使わない立位のトラック種目(=1500m競走)では、ガイドランナーを伴う視覚障がいの競技者(T11)の出場がある。
- (9) ガイドランナーのビブスを自身で手配し、招集所で確認を受けること。
- (10) やり投では、1人につき2本まで個人所有のやりの持ち込みを認める。招集開始の1時間前までにパラ競技者受付に提出し、技術総務(公式計測員)による検査を受ける。検査に合格したやりは主催者が借り上げ、共有とする。競技終了後は、競技場所へ返却を受けること。
- (11) T61とT62(両足切断)の競技者は招集所でMASH(最大許可身長)の確認を受ける。
- (12) 本競技会ではドーピング検査を実施する。注意事項については大会要項で確認すること。

10 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) WAが承認したシューズリストでNoと記載されている靴については使用ができないので、各自で確認しておくこと。
- (3) 靴底の厚さについては、TR5に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。
- (4) 使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後、提出を求めることがある。
- (5) 義足、装具の着用については、WPA規則に拠る。

11 大会主催者の免責事項について

大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

12 個人情報の取り扱いについて

提出していただく個人情報は、感染症予防対策目的である。

【提出いただく書類】「体調管理チェックシート」「保護者同意書」

個人情報については、保健所・医療機関等の第三者への提供がありうる。大会終了後より1ヶ月の保管期間をおき、その後、主催者が適正かつ速やかに廃棄するものとする。

13 その他

- (1) 競技中の応援・助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- (2) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (3) 主催者で預かった物品については一時保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。
- (4) 盗難等の防止のため、更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かず各自が責任持って管理すること。
- (5) 記録はその都度、アナウンス、電光掲示板及び記録結果携帯速報サイトに発表する。
- (6) 届けられた遺失物については、TICで保管する。保管期間は競技会終了時までとする。
- (7) 記録証は1部300円で発行する。希望者は14時30分までにTICに申し出ること。

東京陸協スプリント・チャレンジの記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

QRコードもご利用下さい。



競技会コード： 21 13 0039

競技場コード： 132090